

問合せ先：育成・イベントグループ 大平 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204
【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

日時：2012年1月17日(火) 10:00~17:00
会場：東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム(地下1F)(東京都新宿区神楽坂4-2-2)
主催：公益社団法人自動車技術会
協賛：(社)可視化情報学会
(予定) (公社)計測自動制御学会
(公社)精密工学会
(一社)日本エネルギー学会
(一社)日本機械学会
日本内燃機関連合会
(社)日本トライボロジー学会
(社)日本陸用内燃機関協会
企画：計測・診断部門委員会
定員：120名

参加費(消費税込・テキスト1冊込)：
正会員 15,750円 学生会員 3,150円
賛助会員 22,050円 一般の方 31,500円
協賛学協会の会員 22,050円

参加申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。
①オンライン参加登録：(カード決済ができるようになりました) イベントカレンダー(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>) またはシンポジウムページ(【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2011/scdl.php>)
②インターネットをご利用できない方：
上記、問合せ先へご連絡下さい。

参加申込締切日：2012年1月10日(火)

参加申込キャンセルについて：

申込締切日まで：キャンセル料は発生いたしません。ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。
申込締切日翌日以降：ご出欠にかかわらずキャンセル料として、参加費全額をお申し受けます。なお、開催終了後、テキストは送付いたします。

参加のおすすめ

車両電動化、エネルギー多様化、新興国対応など、年々自動車開発はグローバル化、複雑化しています。このような状況下において計測対象も急速に拡大しており、様々な計測技術を把握しておく必要が生じています。この計測への多様なニーズを踏まえて、本シンポジウムでは、最新のエンジン計測に加えて、非破壊計測と自動車電動化に対応した話題を取り上げ、分野の枠を広げて構成しました。自動車開発のための計測に関する幅広い情報を効率的に収集・討議できる良い機会です。ぜひ皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

計測・診断部門委員会委員長 秋濱一弘

計測・診断部門委員会



委員長
秋濱一弘



幹事
河野尚毅



幹事
赤松史光

プログラム：

10:00 開会挨拶 計測・診断部門委員会委員長
(株)豊田中央研究所 秋濱一弘氏

司会 赤松史光氏(大阪大学大学院)

エンジン計測の新展開

10:05 蛍光体を用いたエンジン筒内2次元温度速度同時計測 (独)産業技術総合研究所 染矢 聡氏
10:45 ポート噴射エンジンにおけるポート・筒内の燃料挙動計測 (株)日本自動車部品総合研究所 鈴木健了氏
11:25 赤外吸収法によるスプレイガイドDISIエンジンにおける点火プラグ近傍燃料濃度計測
岡山大学 河原伸幸氏
12:05 休憩
13:20 2光子励起LIFによるディーゼル機関筒内CO分布計測 (株)豊田中央研究所 冬頭孝之氏

非破壊計測の自動車分野への応用

司会 河野尚毅氏((-財)石油エネルギー技術センター)

14:00 中性子イメージングの最新技術情報と自動車開発への応用 (独)日本原子力研究開発機構 呉田昌俊氏
14:40 ピストンスカート部の潤滑油膜挙動の可視化と膜厚測定 鳥取大学 大澤克幸氏
15:20 休憩

自動車の電動化への対応

司会 河野尚毅氏((-財)石油エネルギー技術センター)

15:35 次世代自動車(PHEV, EV)の試験法と今後の課題 (独)交通安全環境研究所 河合英直氏
16:15 将来の電動化に向けた計測装置の方向性について (株)堀場製作所 塩見和弘氏
16:55 閉会挨拶 計測・診断部門委員会委員長
(株)豊田中央研究所委員長 秋濱一弘氏
17:00 閉会

◆プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。